

インドの映画会社も

ここ数年、富山県内をロケ地とした映画の上映が増えている。17年は「追憶」「ナラタージュ」、18年前半は「羊の木」「となりの怪物くん」が公開され、秋には「散り椿」「ここは退屈迎えに来て」が公開予定である。

過去には石原裕次郎・三船敏郎主演の「黒部の太陽」が県内で撮影されたことがあったが、それ以後は県内をロケ地とした映画制作はあまりなかった。しかし、映画作品リスト（別表）にある通り、10年頃からコンスタントに撮影が行われており、13年にはインドの映画会社もロケに訪れたとのことである。

作品のロケ地を見ると「剣岳 点の記」は明治時代に行われた立山連峰の測量を描いた



県内の主な映画ロケ地。上から「おおかみこどもの雨と雪（花の家）」「人生の約束」（内川沿い）、「羊の木」（しんがきロード）

た作品また春を背負って」は立山の山小屋を舞台にしており、富山ならではの光景が

一般財団法人日本不動産研究所 15 地域資源を生かす ～まちづくりからインバウンドまで

富山県 増える映画ロケ地

映し出されている。一方、最近では「人生の約束」などに見られるように、県内のどこにでもありそうな田舎の風景をバックにした作品が多い。地元住民にとっては見慣れた光景だが、他地域の人から見るとどこか郷愁にかられるところがあるのかもしれない。

ロケ地の増加において大きな力を発揮しているのが、富山県庁に設けられた富山県ロケーションオフィスや、富山市役所に事務局がある富山フィルムコミッションといった組織である。いずれの組織も、有名な俳優を見ることができ、場合によってはエキストラとして映画に参加すること

県内をロケ地とした主な映画作品

作品名	公開時期	主演	主なロケ地
黒部の太陽	1968年	石原裕次郎	立山町
剣岳 点の記	2009年	浅野忠信	立山町
RAILWAYS 愛を伝えられない大人たちへ	2011年	三浦友和	富山市
おおかみこどもの雨と雪 あなたへ	2012年	アニメ 高倉健	上市町 富山市
扇房	2013年	生田斗真	射水市
アオハライド	2014年	木田寛	高岡市
春を背負って	2014年	松山ケンイチ	立山町
人生の約束	2016年	竹野内豊	射水市
カノン	2016年	比嘉愛未	黒部市
追憶	2017年	岡田准一	氷見市
ナラタージュ	2017年	松本潤	高岡市
羊の木	2018年	銀河亮	魚津市
となりの怪物くん	2018年	菅田将輝	富山市
散り椿	2018年	岡田准一	富山市
ここは退屈迎えに来て	2018年	橋本愛	射水市

県市などの誘致組織が映画関係者後押し 知名度上がり「聖地巡礼」も

地元を誇る気持ちも

自分たちの映画であるといった思いが強まる。富山がロケ地の作品は全国上映の前に富山で先行上映され、上映期間も他の作品より長いことが多い。

上映後はロケ地となった場所の知名度が上がり、ロケ地となった場所を訪ね歩く「聖地巡礼」により観光客の来訪も見

込まれる。興行収入が40億円を突破した「おおかみこどもの雨と雪」は、監督の出身地である富山県上市町の風景を基にしたアニメ作品であり、今もこの風景を求めて巡礼者が町を訪れている。

映画の興行は当たり外れがあるが、ロケ地になることは地元住民にとって地域の見直しにつながり、地元を誇りに思う気持ちを芽生えさせる。そしてこれが地域の活性化やまちおこしにつながる引き金となっている。

立山黒部アルペンルートや世界遺産である五箇山の合掌造りといった観光資源しかない富山だが、富山関連の映画を見て、ぜひ「聖地巡礼」にお越しください。

（富山支所、不動産鑑定士・広瀬信之）